

英語動詞現在形の活用の統一的理解

英語動詞の現在形の活用は、主語が (1)単数 (2)複数 (3) I または you、の3つの場合におけることで統一的に理解出来ます。

動詞 主語	be 動詞	一般動詞 (look)	do (動詞・助動詞)
単数	is	looks	does
複数	are	look	do
I	am	look	do
you	are	look	do

この表を見ると、動詞 am を除き、I と you は(単数でも)、主語が複数の場合と同じ動詞の使い方をすることがわかります。三単現が特別なのではなく、I と you が特別なのです。I と you を除けば後は、主語が単数か複数かだけを考えれば良いのです。have、make、go、come、give、get、・・・など身近で頻繁に用いられる動詞には、過去形・過去分詞形が不規則変化をするものが多くあります。一人称 I と二人称 you は最も身近で頻繁に用いられるため、動詞の活用も特別なものになるのではないのでしょうか。当塾では開塾当初から、このように指導を行っています。覚えるべき規則はなるべくシンプルで統一的なものとし、これを身に付けるよう徹底的な練習を行います。別PDFの「be動詞徹底演習」はその一例です。こういう基礎練習が足りないと、知識としては持っていたとしても実際に英文を書いてみると三単現の s を頻繁に落とす、というような事態が起こります。高校生にもそういう例が見られることがあります。